

# 日本ミシェル・アンリ哲学会

## 第四回研究大会 プログラム

日本ミシェル・アンリ哲学会の第四回研究大会を下記の通り開催いたします。

今年2012年はミシェル・アンリの没後10年（生誕90年）にあたりますが、近年はアンリの遺稿の調査研究も進み、アンリ研究も新たな局面を迎えつつあります。

そんななか、今大会では特にアンリのマルクスとの関係をめぐるワークショップを企画しました。アンリの『マルクス』は比較的話題に上らない著作ですが、その「実践」概念の展開によってアンリ哲学で特別な重要性を持つと共に、マルクス研究の分野でも恐らく特異な著作です。今大会では、『マルクス』の翻訳者である水野浩二・杉山吉弘両氏を招き、水野氏にはマルクスを含む現代哲学の流れの中でのアンリ、杉山氏にはアンリのマルクス解釈の意義について提題いただき、討議します。

今大会ではさらに、研究者による発表を二つ予定しています。一つはアンリをデリダと、もう一つはアンリをハイデガーと、それぞれ批判的に突き合わせる意欲的な試みです。これらの発表とワークショップは、相俟って、現代思想の広い諸文脈と相互に照らし合うアンリ哲学の多様な燦めきを浮かび上がらせてくれるでしょう。

本学会の研究大会は会員以外の方も参加自由です（無料）。アンリや哲学・現代思想に興味をお持ちの方はどうぞお気軽にご参加ください。大会終了後には懇親会も予定しております（有料）。

期日：2012年6月9日（土）

会場：学習院大学 北二号館(文学部棟)10階 大会議室

### 【研究発表（午前）】

11:00～12:00

高岡寛（九州大学大学院OB）

「アンリにおける超越と内在——アンリによるハイデガー批判の検討」

12:00～13:00 昼 食

13:00～13:50 総 会

### 【研究発表（午後）】

14:00～15:00

亀井大輔（立命館大学）

「デリダの自己触発論の射程——ハイデガー、アンリと対比して」

### 【ワークショップ】

15:15～17:45

テーマ：「アンリとマルクス」

#### パネラー

水野浩二（札幌国際大学）

「ミシェル・アンリの『現実性の哲学』」

杉山吉弘（札幌学院大学）

「ミシェル・アンリの『経済の哲学』」

#### 司 会

松葉祥一（神戸市看護大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒857-1193 佐世保市沖新町1-1 佐世保工業高等専門学校 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0956-34-8436 E-mail : kawase@sasebo.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>